

いわき市感染症発生動向調査 2025年第21週(5月19日～5月25日)

○警報

【警報】伝染性紅斑

※警報・注意報の基準については、市ホームページ内「医療機関のみなさまへ」をご覧ください。

○定点把握対象疾患(報告数が多い上位3疾患)

順位	疾患名	定点あたり患者報告数		増減の傾向 (過去2週間との比較)
		今週	前週	
1	伝染性紅斑	5.40	7.20	減少
2	感染性胃腸炎	1.40	3.80	減少
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	3.80	減少

※その他の定点把握対象疾患の報告数については、福島県感染症発生動向調査報告(ホームページ内リンクあり)からご確認ください。

○今週のトピックス

◆百日咳増加中！！◆

県内では、第16週以降、10代以下を中心に、感染者が多い状況が続いており、感染地域の拡大が見られます。市内でも今年すでに昨年度一年分を超える報告があがっておりますので感染対策を心がけましょう。

⇒詳しくは、いわき市ホームページ【百日咳について】をご覧ください。
<https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1747183846004/index.html>



【百日咳について】
ホームページ

伝染性紅斑(りんご病)

〈いわき市内の定点あたり報告数〉

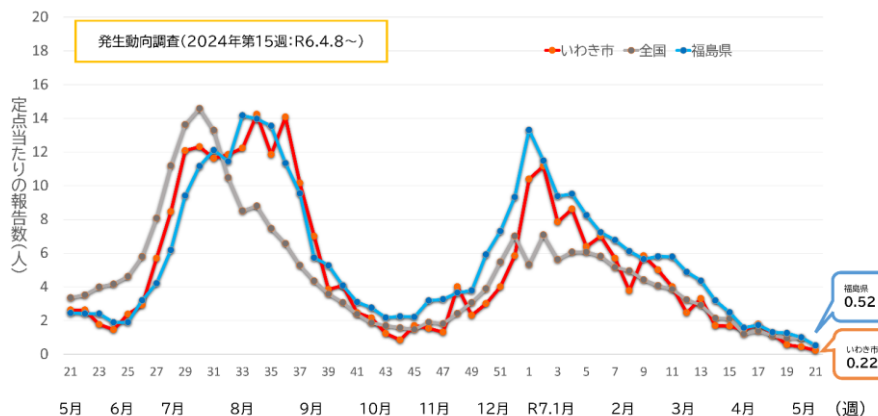


・全国では、過去5年と比べ報告数が多い状況が続いており、**県内で警報継続中**です。市内でも流行がみられています。

・妊娠中または妊娠の可能性のある方が感染すると胎児に影響を及ぼす恐れもあることから、人混みを避け、こまめな手洗い、マスクの着用等の感染対策を心がけましょう。

○新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症に係る定点医療機関当たりの報告数の推移



5類移行後も新型コロナウイルスの感染力や病原性は変わっていません。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクが高まりますので、通院や高齢者施設を訪問する場合には、マスクの着用等、引き続き感染予防対策を心がけましょう。